

北前船

「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間
北前船寄港地・船主集落」の物語



お土産



浜田市観光協会 特産品販売所
浜田市浅井町 777-35 JR 浜田駅 1F
TEL (0855) 28-7133



道の駅 ゆうひパーク浜田
浜田市原井町 1203-1
TEL (0855) 23-8000

魚のすり身に唐辛子を練りこんだものを油で揚げた浜田市のソウルフード「赤てん」や魚の一夜干しなど、浜田市の特産品を各種取り揃えています。



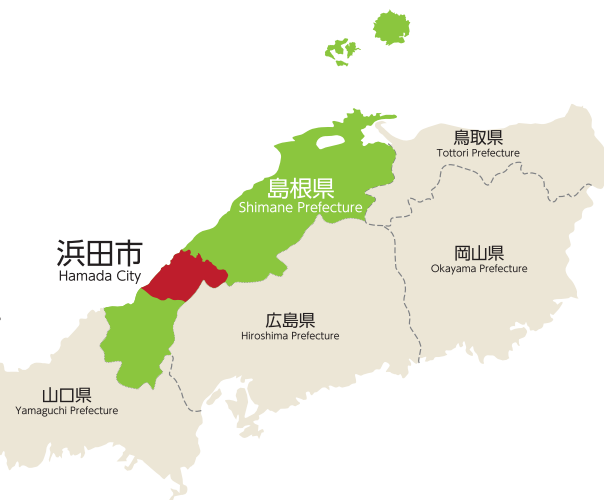
KITAMAE-BUNE



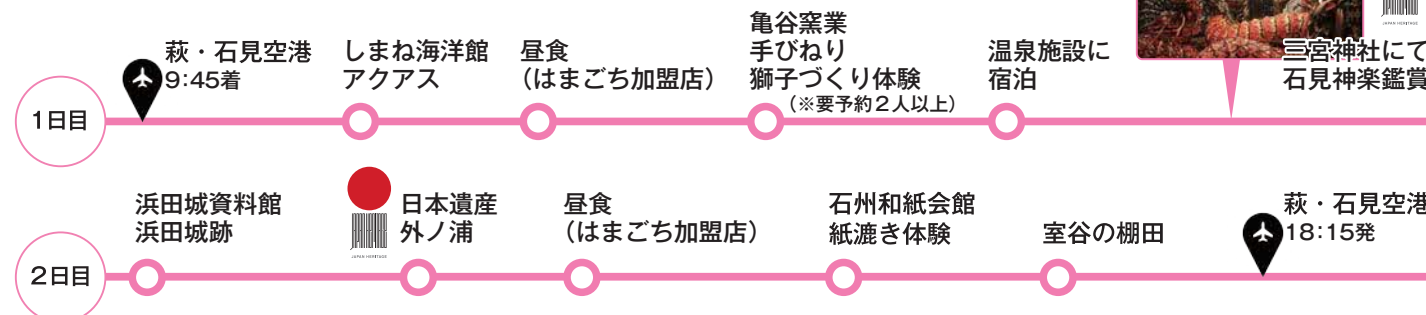
Kitamae-bune

北前船寄港地・船主集落

浜田市 外ノ浦



観光モデルコースの案内（1泊2日レンタカー利用）



お問い合わせ

一般社団法人 浜田市観光協会
Hamada City Tourism Association

〒697-0022 島根県浜田市浅井町 777 番地 35
TEL (0855) 24-1085 FAX (0855) 24-1081



浜田市産業経済部観光交流課
Tourism and Cultural Exchange Division,
Industry and Economy Department, Hamada City

〒697-8501 島根県浜田市殿町 1番地
TEL (0855) 25-9530 FAX (0855) 23-4040

市内の グルメ



浜田沖は豊富なプランクトンによる豊かな漁場が形成されており、四季を通じてさまざまな種類の魚が水揚げされます。また、魚介の加工品の製造も盛んで、あじ・のどぐろの干物や国内生産量の5割を占めるかいらい干物が大変人気です。新鮮な魚介を提供する飲食店はこちら↓



浜田市の総合グルメサイト
「はまごち」

史跡



浜田城跡

1619年に伊勢の国松坂(三重県)の城主、古田重治公が転封し、翌年築城。その後約250年間、浜田藩政の中心でしたが、1866年の長州軍との戦いで再興を期して自焼退城という運命をたどりました。現在は、石垣が残り、桜の名所として市民の憩いの場となっています。

北前船関連スポットコラム

石見焼は18世紀の中ごろから島根県石見地方を中心に焼かれている陶器。石見焼に使用される陶土は、緻密かつ耐酸性という特性を持ち、高温の焼成が可能であるため、焼きあがった陶器は非常に堅牢で耐酸・耐塩・耐水に優れています。その結果、特徴的な大はんどうといった大型陶器が量産され、水がめや漬物甕に使用されるようになり、広い地域に広まっています。

尾上窯では地元浜田産の粘土と県内産の釉薬を主に使用し、素朴な色合いの陶器はどの作品も温かみを感じられます。



体験内容 陶芸体験(要予約)

参加費 2,000円～
定員 20名(最少催行人数1名)
体験場所 尾上窯
浜田市長沢町 259-1
TEL (0855) 22-6302

石見地方で目にする赤瓦の屋根は「石州瓦」と呼ばれています。石州瓦の釉薬は「来待石(きまちいし)」。来待石にはシリカ、アルミナが適度に含まれ、耐火度が極めて高いため1200℃以上の高温焼成が可能なこと、いて(凍害)に強いこと、そして炎が偶然に生み出した「赤褐色」の色合いが特徴です。1806年創業の亀谷窯業では、来待にこだわり続け、一枚一枚を手造り。「瓦は瓦」の伝統に徹するとともに、「瓦は瓦にあらず」との発想で、「石州瓦」の現代性を追求。観光列車「あめつち」のテーブル装飾にも採用されています。



体験内容 手びねり獅子づくり(要予約)

参加費：4,000円
定員：10名まで(最少催行人数2名)
体験場所：亀谷窯業
浜田市長沢町 736
TEL (0855) 22-1807

外ノ浦で運び出されていたものの中には「鉄」があります。この鉄は、山を切り崩して土砂を流し、それに含まれる砂鉄を採取する「鉄穴流し(かんなながし)」という方法により採取されていました。この鉄穴流しは、山を切り崩すことにより、大量の土砂を河川に流すことから、流域の環境に大きな影響を与えました。その一方で、鉄穴流しの跡地を棚田に造成するという方法でたたら製鉄跡地は先人たちの手により有効活用されています。現在も室谷の棚田(三隅町)や都川の棚田(旭町)といった棚田群から当時の様子をうかがい知ることができます。



棚田 (たたら製鉄の名残)



石州和紙は破れに強い強靭さが特徴で、江戸時代に北前船によって運ばれ、大坂の商人が帳簿として使用していたといわれており、火災の際には井戸の中に帳簿を投げ込んで保存を図ったとの逸話も残るほど。石州和紙の中でも、原料に楮(こうぞ)のみを使用する石州半紙は、昭和44年(1969年)に国の重要無形文化財の指定を受け、平成21年(2009年)にはユネスコ無形文化遺産「石州半紙」として記載されています。

石州和紙会館では、和紙製品の販売のほか和紙の歴史や製造工程を学ぶことができ、紙漉き体験も行えます。



体験内容 紙漉き体験(要予約)

参加費 550円～
定員 最大40名
体験場所 石州和紙会館
浜田市三隅町古市場 589
TEL (0855) 32-4170



外ノ浦

構成文化財

浜田市には外ノ浦(とのうら)、瀬戸ヶ島(せとがしま)、長浜(ながはま)の三つの港があり、中でも外ノ浦は北前船の西廻り航路の風待ち港及び瀬戸内方面への中継点として栄えた浜田藩最大の貿易港でした。外ノ浦の特徴は、山に抱かれたわずかな平地に、湾内の南北に廻船問屋をはじめとした小規模な集落が形成されている点です。そして江戸時代から変わることはない、深く入り込んだ湾の風景が、寄港地の面影を今でも色濃く残しています。

島根県 浜田市



コウ温泉



湯屋温泉



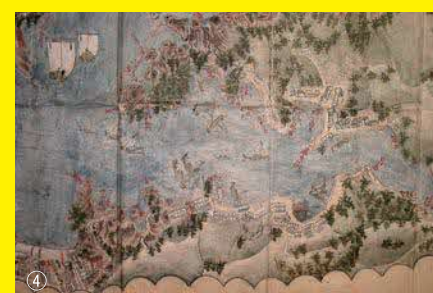
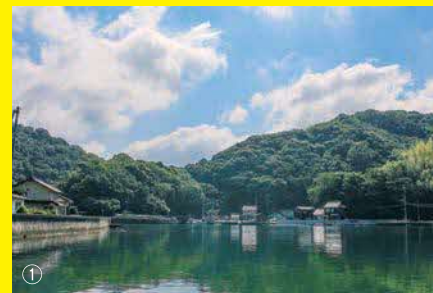
美又温泉



旭温泉

温泉

島根県は、2012年からポーラにより実施されている美肌県グランプリにおいて4年連続1位となるなど、美肌県として有名です。美肌の要因の1つとして挙げられるのが県内に多数ある温泉です。浜田市には泉質の異なる4つの温泉があり、温泉巡りを楽しむこともできます。



①外ノ浦の町並み

深い入り江に沿って船主集落が展開する北前船の風待ち港。北前船との売買や水補給などが行われました。

②日和山方角石(ひよりやまほうかくいし)

北前船の船乗りが出港前に、風向きや潮の流れを確認した日和山にある方角石。日和山からの景色は往時の面影を残しています。

③諸国御客船帳(しょこくおんきゃくせんちょう)

港に出入りした北前船を国別・地域別に整理し、船形(彩色)や積荷・揚荷などを記した顧客名簿。

④自唐鐘浦至長浜浦海岸絵図

(とうがねうらよりながはまうらにいたるかいがんえず) 北前船に関わった廻船問屋・米屋が出入りする諸国の船や停泊場所を描かせた絵図。